

委員会審査

特別会計

付託された元年度4特別会計決算について、慎重かつ詳細に審査を実施した。

その内容について、両委員長から審査報告があり、主な内容は以下のとおり。

国民健康保険

社会文教常任委員長 大森 茂彦

1人あたり医療費 約40万円に増加

問 不能欠損の理由は。

答 主なものは、他市町村転出者で差押財産がない者が10名、所在不明で差押財産がない者が2名、自己破産した者が1名である。

問 収入未済額について、最高額滞納者への対応は。

答 分納での納付が進まないため、元年度から滞納整理機構に移管している。

問 未納者の保険証はどのようになっているか。

答 短期証を発行している。元年度末時点で、窓口預かりの9件を除き25件あり、内訳は3ヵ月が1件、1ヵ月が24件である。

問 1人当たり医療費の金額と県内順位は。

答 令和元年度の速報値では、40万2456円で高い方から10番目である。

問 1人当たりの医療費が高くなっているがその要因は。

答 100万円以上のレセプトが増加するなど、高額な医療にかかる件数が増加していることも要因の一つとして考えている。

問 特定健診の受診率を向上させる取り組みは。

答 厚生労働省の目標は受診率60%であるが、町では65%を目標としている。

近年、受診率は増加傾向で推移しており、元年度(速報値)は58・1%であった。戸別訪問による受診勧奨が受診率向上に効果があることから、引き続き取り組んでいく。

下水道事業

総務産業常任委員長 滝沢 幸映

下水道整備率 87・2%

問 下水道整備の進捗状況と下水道の接続率は。また、2年度で面的整備は完了する予定か。

答 元年度末で下水道管路の整備率は87・2%である。

また、下水道の接続率は76・8%である。整備予定区域のうち、住居地域の管路については、今年度中の整備完了を目指している。

問 受益者負担金の「前納報奨金」の状況は。

答 元年度に新規賦課地域となり、対象となった247件のうち、169件、68・4%が対象となった。

問 県営水道データ使用料の内容は。

答 下水道の使用量は、県営水道の計量器の指針により算出するため、県営水道からデータを購入する費用である。

問 データ提供の内容としては高額ではないか。

答 町が直接、下水道の使用量を把握する場合、下水道用の計量器の新設費、計量法で義務付けられた8年ごとの計量器の交換費用、検針の人件費などの経費負担が必要となる。

こういった点を考慮すると、県営水道からデータを購入する方が安価であると考えている。

問 流域下水道災害復旧事業費負担金の内容は。

答 東日本台風災害により、長野市のアクアパル千曲が浸水し、ポンプ棟に被害が生じたことによる復旧事業の設計費、工事費の負担金である。

処理場を使用する長野市、千曲市、坂城町が拠出した。

介護保険

社会文教常任委員長 大森茂彦

後期高齢者医療

社会文教常任委員長 大森茂彦

第2回臨時会

健康づくり運動教室

問 保健指導と介護予防の一体化事業の中で、地域の集いの場を活用することを推奨しているが、地域住民グループ15グループでは足りないのではないか。

答 地域住民グループだけに限らず、社会福祉協議会に委託しているミニデイや同じ健康課題を持つ人をグループ化するなど、いろいろな手法が考えられる。

問 等へ講師を派遣している。
答 介護予防住宅改修費の補助実績は。

問 健康づくり運動教室の内容は。

答 町が行っているストレッチヨガ教室や高齢受給者証交付時の健康講座を行っている。

また、社会福祉協議会委託事業への講師派遣のほか、住民グループからの要望に基づき、公民館

納付金の算定方法

問 後期高齢者医療広域連合納付金の算定方法はどういうになっているのか。高齢者の医療費が高くなる、連動して高くなるということか。

答 納付金の内訳は、保険料の軽減賦課分の財源に充てられる保険基盤安定制度に係る納付金と、被保険者から収納した保

険料の全額である。

問 特別会計の納付金は保険料分であり、医療費の増加は保険料の改定に反映される可能性はあるか。

答 後期高齢者医療広域連合に配置されている医療職等専門職は何名か。
答 管理栄養士1名と保健師1名である。



健康づくり運動教室（保健センター）

7月29日の臨時会では、基金条例の制定、補正予算など3件の議案を原案どおり可決した。

◆新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金条例制定

町の利子補給制度の対象となる融資を受けた町内事業者に対して、利子補給を円滑に行うため条例を制定。

来年度以降の利子補給相当額を基金に積み立て、年度ごとに必要な金額を繰り出して事業に充当する。

◆一般会計補正予算（第6号）

主な内容
・GIGAスクール構想推進事業
1億8226万円
（小中学校児童生徒に、1人1台端末の配備及び大容量通信が可能となる校内ネットワークを整備）

・温泉施設持続化負担金
1700万円

・保育園、小中学校等の感染予防対策費用等
1006万円

・特別児童扶養手当等受給者及び在宅介護者への特別給付金の支給
709万円

・町内障がい福祉事業所及び介護保険事業所への感染症対策費用助成
115万円

・坂城町新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金
800万円

◆介護保険特別会計補正予算（第1号）

主な内容
・配食サービス利用者へのクーポン券配布
42万円

・地域住民グループ活動を応援するための衛生用品等経費
19万円